

平和学習

73年前の今日、広島に原子爆弾が投下され、多くの犠牲者を出しました。依然、戦争や核兵器がなくなるこの状況の中、戦争を経験した世代の高齢化が進んでおり、やがてはそうした方々から直接話を聞くことができない日がやってきます。今回の平和学習で、生徒たちは広島、長崎に原爆が投下された当時の被害状況を学び、今後は自分たち、若い世代が平和を維持していかなければならないことを改めて意識しました。今後、原爆が使用されたという悲劇を二度と繰り返さないためにも、まずは若い世代が平和について考え、知識を深める必要があります。今回の平和学習がそのきっかけとなればと思います。

生徒支援部長 岸山 裕之

